

# ん深める

余門知里記者



のサイトでも登録で提供する・しない、さえ方も等しく尊重さ  
 以て臓器提供には家族  
 語が必要なくとも知  
 くに臓器提供への考え  
 ると、「わかった」  
 解してくれた。自分の  
 いて家族に話すこと

には少し気が引けたが、提供の機会がいつ訪れるかは誰にもわからない。家族と話し合うきっかけとなった取材に感謝した。

臓器移植手術を受けた患者や家族などをつくる「臓器移植について話そうの会」の代表・及川幸子さんは、生体肝移植の当事者でもある。及川さんは、「私たちは『臓器を提供してほしい』のではない。移植医療はそれぞれの選択と意思が守られ、救われる命が増えることが理想の形です」と話す。臓器を提供する、移植を受ける、どちらの立場にもなる可能性があることについて考えるきっかけとなった記事を書いていきたい。

## 「歯科医療情報推進機構」20周年で記念式典

歯科の医療機関の質やサービスを評価するNPO法人「歯科医療情報推進機構」（鴨井久一理事長）が設立から20周年を迎え、東京都内で3日、記念の式典を開いた。

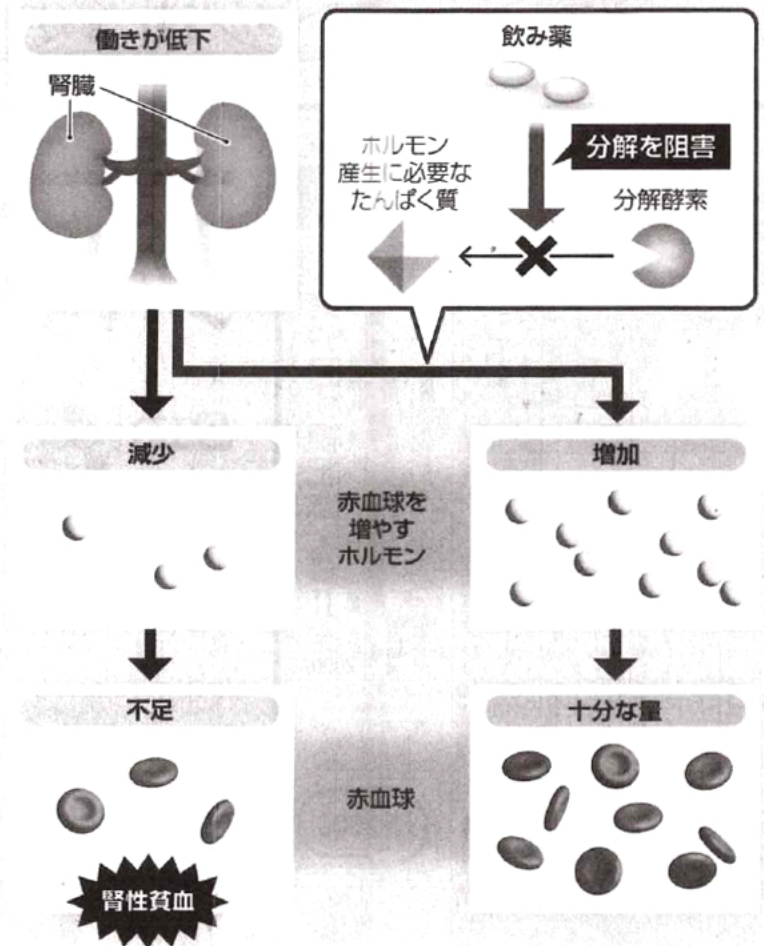
同機構は、患者が歯科の医療機関を安全に安心して受診できるようにと、2003年に設立された。評価基準や認定制度を作り、講演会や研修会などを通じて普及を図ってきた。

式典では、これまでの活動内容が映像で紹介された。松本満茂専務理事が、国民が生涯を通じて定期的に歯科健診を受ける「国民皆歯科健診」を政府が推進していることに触れ、「エビデンス（科学的な根拠）を出し、健診で（歯の健康が）良くなることを広く伝えていきたい」と力を込めた。

に、母と8年間過ごす中で気づきを語る。無料。定員390人。申し込み不要で先着順。公益社団法人・認知症の人と家族の会主催。問い合わせは同会東京都支部 ☎03・5367・8853（火曜、金曜の午前10時～午後3時）へ。

世界アルツハイマーデー記念講演会 9月16日午後1時半、東京都新宿区の区立四谷区民ホール。21日の同デーを前に、脳科学者の恩蔵絢子さんが「認知症の母とともに暮らしてみよう～脳科学からみた認知症の理解～」をテーマ

## 慢性腎臓病で腎性貧血が起きる仕組みと、飲み薬の動き



### 注射薬と飲み薬の特徴

| 注射薬<br>(従来薬) | 飲み薬<br>(新薬)         |
|--------------|---------------------|
| 2~4週に1回      | 1日に1回または週3回         |
| 医療機関         | 自宅                  |
| 服用薬が増えない     | 痛みがない<br>飲み忘れに注意が必要 |

作図 デザイン部 高橋亜実

# 飲み薬登場 注射の負担減

高まります。人工透析を受

イブの貧血に対しては鉄分

ていても、ホルモンが十分

するようにしました。  
 男性は「注射の痛みにストレスを感じていました。飲み薬に変えて、気が楽になりました」と話しています。